



## 2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月9日

上場会社名 株式会社システムサポート 上場取引所 東  
コード番号 4396 URL <https://www.sts-inc.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小清水 良次  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 森田 直幸 TEL 076-265-5151  
四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 2023年3月15日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第2四半期の連結業績 (2022年7月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	9,211	18.2	743	26.4	757	27.8	508	29.4
2022年6月期第2四半期	7,790	12.6	587	15.6	592	14.5	393	14.2

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 509百万円 (29.1%) 2022年6月期第2四半期 394百万円 (14.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	49.11	49.02
2022年6月期第2四半期	37.97	37.86

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	8,164	3,796	46.5
2022年6月期	7,815	3,421	43.8

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 3,796百万円 2022年6月期 3,421百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	12.00	—	13.00	25.00
2023年6月期	—	15.00	—	—	—
2023年6月期 (予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,093	11.7	1,456	21.7	1,452	22.0	982	25.1	94.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（注）特定子会社には該当しませんが、株式会社ブロックを第1四半期連結会計期間より連結範囲から除外しております。

詳細は、添付資料P9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期2Q	10,380,000株	2022年6月期	10,380,000株
② 期末自己株式数	2023年6月期2Q	23,191株	2022年6月期	22,123株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期2Q	10,357,303株	2022年6月期2Q	10,350,982株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、2023年2月9日（木）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

（四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2023年2月9日（木）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会の動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
（継続企業の前提に関する注記）	9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	9
（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）	9
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）	9
（会計方針の変更）	9
（追加情報）	9
（セグメント情報等）	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ロシアによるウクライナ侵攻及び原油をはじめとした物価の高騰、円安の急激な進行等の影響が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。一方で当社グループが属する情報サービス業界におきましては、EC市場の拡大を背景としたネット通販に関連したシステム基盤の構築や業務の効率化及び生産性向上等を目的とした投資需要は底堅く、またAIやIoT、クラウドサービスの利用領域の多様化等の流れは継続しております。

このような状況の中で、当社グループにおきましては、システムの維持運用の効率化に向けたクラウドサービスやITシステム基盤等のクラウドサービス利用支援分野において新規及び既存顧客の受注、各種製品の販売に注力した結果、売上高は9,211百万円（前年同期比18.2%増）、営業利益は743百万円（同26.4%増）、経常利益は757百万円（同27.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は508百万円（同29.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高については、外部顧客への売上高を記載しております。

また、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しております。そのため、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

#### (クラウドインテグレーション事業)

システムの維持運用の効率化に向けたクラウドサービスやITシステム基盤等のクラウドサービス利用支援分野の受注が好調に推移した結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,394百万円（前年同期比52.2%増）、セグメント利益は374百万円（同58.1%増）となりました。

#### (システムインテグレーション事業)

ERPパッケージ利用支援分野やデータベース等のインフラ構築関連が堅調に推移した結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,543百万円（前年同期比8.2%増）、セグメント利益は160百万円（同16.8%減）となりました。

#### (アウトソーシング事業)

AI関連サービス等を含めたデータセンター業務について受注が好調に推移した結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は861百万円（前年同期比15.4%増）、セグメント利益は109百万円（同18.9%増）となりました。

#### (プロダクト事業)

建て役者（建築業向け工事情報管理システム）及びSHIFT E E（クラウド型シフト管理システム）等の販売が好調に推移した結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は345百万円（前年同期比16.8%増）、セグメント利益は91百万円（同44.9%増）となりました。

#### (海外事業)

北米で展開しているシステムインテグレーションやアウトソーシング、メディア運営事業等については、当第2四半期連結累計期間における売上高は67百万円（前年同期比35.8%増）、セグメント利益は25百万円（同22.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ348百万円増加し、8,164百万円となりました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が431百万円増加、現金及び預金が89百万円減少したことによります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ25百万円減少し、4,368百万円となりました。これは主に流動負債の短期借入金が540百万円増加、その他が532百万円、未払法人税等が47百万円減少したことによります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ374百万円増加し、3,796百万円となりました。これは主に利益剰余金が373百万円増加したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の連結業績予想については、2022年8月10日の「2022年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染拡大による当社グループの事業への影響は、以下の仮定に基づき、2023年6月期の業績予想に織り込んでおります。

- ・顧客業績等の状況次第では、IT投資予算の縮小やプロジェクトの延期等の発生による当社グループの業績への影響は見込まれるものの、当社グループは特定顧客への依存割合は低く、かつ、顧客の業種も幅広いため、当該影響は軽微である。
- ・緊急事態宣言が発令されても、勤務については在宅や時差等を、商談・会議はオンライン会議を活用し事業の継続は可能である。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,254,220	3,164,642
受取手形、売掛金及び契約資産	2,700,261	3,131,947
商品及び製品	41,248	49,757
仕掛品	26,609	46,081
貯蔵品	2,807	2,814
その他	278,733	230,481
貸倒引当金	—	△685
流動資産合計	6,303,881	6,625,040
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	307,195	361,519
無形固定資産		
のれん	199,800	185,181
その他	180,182	162,236
無形固定資産	379,983	347,417
投資その他の資産	824,244	830,047
固定資産合計	1,511,422	1,538,984
資産合計	7,815,303	8,164,025

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	520,771	570,500
短期借入金	825,000	1,365,000
1年内返済予定の長期借入金	78,209	62,001
リース債務	20,063	22,811
未払法人税等	332,826	285,243
賞与引当金	9,543	22,359
受注損失引当金	103	—
品質保証引当金	7,585	8,306
その他	1,892,307	1,359,331
流動負債合計	3,686,410	3,695,553
固定負債		
長期借入金	245,800	204,892
リース債務	40,601	44,957
役員退職慰労引当金	233,137	246,917
退職給付に係る負債	182,533	169,736
その他	5,320	5,964
固定負債合計	707,393	672,468
負債合計	4,393,803	4,368,021
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	723,323	723,323
資本剰余金	549,837	549,837
利益剰余金	2,203,584	2,577,555
自己株式	△18,655	△18,747
株主資本合計	3,458,091	3,831,969
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	6,255	3,493
退職給付に係る調整累計額	△42,846	△39,459
その他の包括利益累計額合計	△36,591	△35,965
純資産合計	3,421,500	3,796,004
負債純資産合計	7,815,303	8,164,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	7,790,042	9,211,538
売上原価	5,740,454	6,711,597
売上総利益	2,049,588	2,499,940
販売費及び一般管理費	1,461,693	1,756,890
営業利益	587,894	743,049
営業外収益		
受取利息	12	30
受取手数料	316	9,308
助成金収入	10,624	5,783
為替差益	—	5,164
保険配当金	1,480	972
その他	2,408	2,089
営業外収益合計	14,842	23,348
営業外費用		
支払利息	7,163	8,565
為替差損	3,018	—
その他	1	553
営業外費用合計	10,183	9,118
経常利益	592,554	757,279
税金等調整前四半期純利益	592,554	757,279
法人税等	199,529	248,656
四半期純利益	393,024	508,623
親会社株主に帰属する四半期純利益	393,024	508,623



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	393,024	508,623
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	324	△2,761
退職給付に係る調整額	1,125	3,386
その他の包括利益合計	1,449	625
四半期包括利益	394,474	509,248
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	394,474	509,248

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	592,554	757,279
減価償却費	87,327	84,534
のれん償却額	2,037	14,619
株式報酬費用	23,275	21,334
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	723
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12,611	13,779
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,759	△7,906
賞与引当金の増減額 (△は減少)	19,782	13,055
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△3,994	△103
品質保証引当金の増減額 (△は減少)	6,150	720
受取利息及び受取配当金	△12	△30
支払利息	7,163	8,565
売上債権の増減額 (△は増加)	△377,919	△432,338
棚卸資産の増減額 (△は増加)	101,625	△27,988
仕入債務の増減額 (△は減少)	17,741	50,126
未払費用の増減額 (△は減少)	△420,441	△554,402
未払金の増減額 (△は減少)	△23,419	△25,081
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△58,160	△38,361
その他	120,387	120,054
小計	110,469	△1,418
利息及び配当金の受取額	12	30
利息の支払額	△7,114	△8,615
法人税等の支払額	△181,410	△294,089
法人税等の還付額	—	5,319
営業活動によるキャッシュ・フロー	△78,043	△298,773
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△39,900	△39,300
定期預金の払戻による収入	54,700	55,200
保険積立金の積立による支出	△6,348	△6,348
有形固定資産の取得による支出	△7,352	△93,204
無形固定資産の取得による支出	△37,977	△23,177
敷金及び保証金の差入による支出	—	△7,146
敷金及び保証金の回収による収入	393	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,484	△113,976
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	540,000	540,000
長期借入金の返済による支出	△49,042	△57,116
リース債務の返済による支出	△11,802	△10,209
配当金の支払額	△216,387	△134,423
自己株式の取得による支出	—	△92
財務活動によるキャッシュ・フロー	262,768	338,158
現金及び現金同等物に係る換算差額	573	△3,294
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	148,813	△77,886
現金及び現金同等物の期首残高	2,199,873	2,702,034
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,348,686	2,624,148

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

2022年7月1日を効力発生日として、連結子会社である株式会社アクロスソリューションズを吸収合併存続会社、株式会社アクロスソリューションズの子会社であった株式会社ブロックを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、株式会社ブロックを連結の範囲から除外しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り）

前連結会計年度の有価証券報告書（追加情報）に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年7月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	クラウドイ ンテグレー ション	システムイ ンテグレー ション	アウトソ ーシング	プロダクト	海外	計		
売上高								
一時点で移転される 財又はサービス	183,348	851,414	70,497	80,311	0	1,185,571	—	1,185,571
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	1,390,240	4,274,065	675,672	215,140	49,351	6,604,470	—	6,604,470
顧客との契約から生 じる収益	1,573,588	5,125,479	746,170	295,451	49,351	7,790,042	—	7,790,042
外部顧客への 売上高	1,573,588	5,125,479	746,170	295,451	49,351	7,790,042	—	7,790,042
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,387	29,265	2,886	17,510	53,050	△53,050	—
計	1,573,588	5,128,867	775,436	298,338	66,861	7,843,092	△53,050	7,790,042
セグメント利益	236,765	193,148	92,435	63,277	20,718	606,346	△18,451	587,894

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去の額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年7月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	クラウドイ ンテグレー ション	システムイ ンテグレー ション	アウトソ ーシング	プロダクト	海外	計		
売上高								
一時点で移転される 財又はサービス	263,164	959,843	57,319	68,936	—	1,349,265	—	1,349,265
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	2,131,293	4,584,033	803,751	276,157	67,037	7,862,273	—	7,862,273
顧客との契約から生 じる収益	2,394,458	5,543,877	861,071	345,094	67,037	9,211,538	—	9,211,538
外部顧客への 売上高	2,394,458	5,543,877	861,071	345,094	67,037	9,211,538	—	9,211,538
セグメント間の内部 売上高又は振替高	154	6,284	24,210	3,273	19,568	53,490	△53,490	—
計	2,394,612	5,550,161	885,281	348,367	86,606	9,265,029	△53,490	9,211,538
セグメント利益	374,412	160,783	109,933	91,671	25,405	762,205	△19,156	743,049

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去の額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、2023年6月期を初年度とする中期経営計画において、中期的に注力する事業とその進捗を明確にするためセグメントを見直したことに伴い、第1四半期連結会計期間より「クラウドインテグレーション事業」「システムインテグレーション事業」「アウトソーシング事業」「プロダクト事業」「海外事業」の5つに区分して報告しております。従来の区分からの主な変更点として、従来の「ソリューション事業」を、クラウドインテグレーション分野の「クラウドインテグレーション事業」と、ERPパッケージ関連やインフラ構築、ITシステム開発等の「システムインテグレーション事業」に分割しました。また従来「アウトソーシング事業」に含んでいたシステム運用保守の一部を「システムインテグレーション事業」に移管したほか、海外で実施する各種サービスやメディア運営を新たに「海外事業」として区分しました。

加えて、「販売費及び一般管理費」については、従来は各報告セグメントに配賦しておりませんでした。今後の事業成長を加速させるための経営管理・意思決定に基づく戦略的経費としての側面を重視し、中期経営計画の進捗をより適正に開示・報告することを目的として、各報告セグメントへ配賦する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。